

第1回埼玉県まち・ひと・しごと創生有識者会議 における委員からの意見（概要）

日時：平成27年5月18日（月）
14:00～16:05

1 「しごとづくり」に係る取組

- ・ 雇用の質と量の確保が大事。特に量だけでなく質の部分の視点も大事である。特に長時間労働の是正や非正規雇用の問題解決などを図る必要がある。
- ・ 付加価値の高い企業を誘致するか、先端的な産業を育てるかのいずれかだと思ふ。
- ・ 県のウーマノミクスプロジェクトは、M字カーブ解消という視点で、子育て期の女性を主な対象に考えているようだが、子育て終了後の女性の方が潜在的な起業家が多いのではないかと。また、この世代は、貯蓄もあるため、起業しやすい。第二のウーマノミクスとして考えた方がよい。

2 「ひとの流れ」に係る取組

- ・ 観光情報がメディアから流れると物凄い効果がある。観光への取組において、メディアを最大限利用すべきである。
- ・ 昔ながらの消費型の観光を変える必要がある。住民の人が自分の街の素材・資源に気づいて、お互いの街を訪ねて交流する、そういう小さな観光をやるべきではないか。
- ・ 埼玉と言えばコレという冠となる観光資源を育てていく必要があるのではないかと。
- ・ 産業誘致の視点では、「フードバレーとかち」「愛知の自動車産業集積」「アメリカ西海岸のシリコンバレー」などのように、最先端産業を誘致するといったものでもよいので、何か埼玉ならではのイメージを作り上げて企業を呼び込む戦略が必要ではないかと思ふ。

3 「結婚・出産・子育て」に係る取組

- ・ 既婚者の出生率は20年前と大きく変わっていない。問題は未婚者が増えたこと。一定の年収がないと結婚は難しい。
- ・ 埼玉県の子育て支援は、一部を除き魅力的とは言えない。保育所の待機状況に余裕のある県北などの子育て支援を充実し、それをアピールすることで北関東などから人を呼び込んだらどうか。子育て家庭に対する住宅支援も重要である。

4 「まちづくり（地域づくり）」に係る取組

- ・ 埼玉は地盤が強く災害の恐れが少なく、交通の便もよい。他県から見ると羨ましいと思われている。
- ・ 埼玉県は県南と県北で2面性がある。地域特性を考えた議論が必要である。